



フルーツバスケット



〒399-3301 下伊那郡松川町上片桐919-1 ●TEL 0265-37-2011 ●FAX 0265-37-3173 ●URL <http://www.nagano-c.ed.jp/mtka-hs/> ●E-mail mtka-hs@nagano-c.ed.jp

マイフレンズ・マイメモリー



“平和への祈り” 2学年全員で誓いました
～平和祈念公園「平和の礎」へ献花～

はいさい! (ごんにちは) 沖縄に行ってきました!

2学年沖縄研修旅行



沖縄の文化・芸能・自然を満喫しました!
—古き沖縄を再現した人気テーマパーク—



ガマ・壕 (自然洞窟)
ガマのおかげで多くの命が救われた! 半面…

研修旅行のまとめとして“沖縄”で見て・聞いて・感じたことを『フォト短歌』にしました。
4クラスの代表作を紹介します。

『平和』 緑青の 魅力を語る 花言葉 篠葛は ウチナーの花

木下稜太 (2年1組: 豊丘中出身)

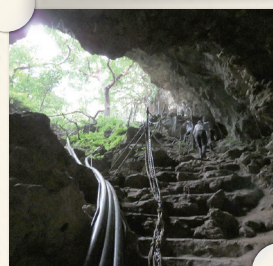
戦争が終わって70年たった今の沖縄はとても魅力に満ちていました。ブーゲンビレアの花言葉が「あなたは魅力に満ちている」と、沖縄で思ったことにびっくりだったのと、自然が多く緑が多かったことも伝えたかったのでこの写真にしました。



『平和』 暗闇で 稚児の泣き声 切なげに 母の涙は 枯れることなく

宮嶋 栞 (2年2組: 赤穂中出身)

戦争中の人々の避難場所であったガマ。兵士に追い出されたり、赤ちゃんが泣けば“殺すか、出ていくか”と言われたと聞きました。その時の母の悲しみを詠んでみました。



『戦争』 戦争よ 数多の命 のみこんで 手にしたものは 悲しみだけか

林 優香 (2年3組: 松川中出身)

平和の礎に刻まれた多くの名前。「こんなに命を犠牲にしてまで手にしたかったものは何ですか」「戦争が終わって私たちが手にしたものは、悲しみだけじゃないですか」。何より大事なものは私たちの平和なんだという思いを込めた短歌です。



『普天間と町』 「ち」の戦 傷痕残る 日と星の 拒絶の壁は いまだ壊れず

福澤吉晃 (2年4組: 高森中出身)

最初の「ち」は、地と血。地上戦の傷跡が残る日(日本)と星(星条旗)、そこにある拒絶の壁はいまだに残っている。基地問題がいまだに解決していないことに警告を出したかった。



フォトライブラリー

夢をかたちに

松川町役場庁舎“花壇”の花の植え替え
2年生の新生徒会執行部



高校最後の実習“デコレーションケーキ”
3年テクノ基礎エリア選択者

“未来をつくる” “働くこと”を体験!
1年『ワークスタディー』全校生徒発表会

